

やまきた

議会だより

第186号

平成28年8月1日

第2回定例会
補正予算、条例改正など審議
議会報告会・意見交換会を開催

一般質問
ズバッと問う！

生きいきひろば
私たちが大好きな洒水太鼓

地域の支えでつなく洒水太鼓

●平成27年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

●平成27年度土地開発公社事業報告および決算報告

報
告



新しくなるわかば保育園と山北幼稚園

工事請負契約

認定こども園整備工事
請負契約の締結

契約金額
5937万8400円

契約の相手
今泉建設(株) (山北町岸
代表取締役 今泉美智子)

平成27年度の医療費の決定にともない、国庫支出金や療養給付費等交付金などの歳入の額が変更となり、歳入・歳出それぞれ4017万6000円を追加、専決処分を行なったことにに対し、全員賛成で承認した。

平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第8号)

地方譲与税、地方交付税などの額の確定にともない、歳入・歳出それぞれ4142万7000円を追加、専決処分を行なったことにに対し、全員賛成で承認した。

平成27年度一般会計補正予算(第9号)

専決処分

第3回臨時会
(4月27日開催)

議案等審議の結果

第2回定例会（6月14日～15日）

件名	月日	審議結果	件名	月日	審議結果
行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正	6月15日	可決 (賛成多数)	平成28年度山北町一般会計補正予算(第1号)	6月15日	可決 (賛成全員)
山北町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	6月15日	可決 (賛成全員)	平成27年度山北町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	6月15日	報告のみ
山北町国民健康保険税条例の一部改正	6月15日	可決 (賛成多数)	平成27年度山北町土地開発公社事業報告及び決算報告	6月15日	報告のみ
平成28年度認定こども園整備工事請負契約の締結	6月15日	可決 (賛成多数)			

☆賛成・反対があった議案

議員名（議席順）	熊澤友子	藤原浩	井上正文	児玉洋一	原憲司	石田照子	瀬戸顯弘	瀬戸恵津子	鈴木登志子	小栗直治	川村俊治	渡辺良孝	庄野京子
議案													
行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
山北町国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
平成28年度認定こども園整備工事請負契約の締結	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第3回臨時会（4月27日）

件名	月日	審議結果	件名	月日	審議結果
専決処分の承認（平成27年度山北町一般会計補正予算（第9号））	4月27日	承認 (賛成全員)	専決処分の承認（平成27年度山北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第8号））	4月27日	承認 (賛成全員)

※○は賛成、●は反対を表しています。府川輝夫議長は、採決に加わりません。

第2回定例会（6月14日～15日）

介護ロボット導入

国の補助金を活用し、介護士負担軽減へ

介護ロボット導入
川村議員 介護ロボット導入特別補助金では、町内施設に10台を間接補助する予定とのことだが、所有者は町になるのか、介護施設に

歳入の主なもの、臨時福祉給付金等補助金1140万円、地域介護・福祉空間整備推進事業交付金717万円など。
歳出の主なもの、臨時福祉給付金等給付費1065万円、介護ロボット等導入支援特別事業補助金717万円など。

一般会計補正予算
国の給付金事業費など2534万円を増額

第2回定例会が6月14日から15日の2日間の会期で開催した。主な議題は、条例改正など7件を審議した。一般質問に立った議員は7人で8項目の質問があった。

（一般質問は8ページから15ページに掲載）

なるのか。また、今後メンテナンス料はかかるのか。保健健康課長 国の交付金を使って事業者が購入するため、町に財産権はなく、メンテナンス料などの負担は発生しない。

お金の流れは、国から県へ、県から市町村へ、市町村から事業所に全額渡すことになる。



導入予定のマッスルスーツ®(写真提供:製造販売元(株)イノフィス)

熊澤議員 介護ロボットは、施設からの要望台数に限度はあるのか。
保健健康課長 事前に各施設から希望台数を聞いて国へ申請している。国の全体の予算の中で市町村へ割り当てるため、希望どおりにするとは限らない。

条例改正

行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

固定資産評価審査委員会条例に係る適用区分の表現を、わかりやすく明確な表記に改めるもの。

町職員の勤務時間
休暇等に関する条例

学校教育法の一部を改正する法律の施行にともない、育児または介護を行う職員の早出、遅出勤務について、

国民健康保険税条例
地方税法等の一部改正にともない、国民健康保険税の課税限度額の引き上げと軽減措置に関する所得判定基準を改正するもの。

渡辺議員 今回の改正で、税収額の見込みと、国保税収の影響は。

保健健康課長 28年度は本算定前のため、わからないが、27年度の所得で仮計算すると、課税限度額引き上げによる増は76万9000円、軽減措置による減は17万7000円になると考えられる。

議会報告会 意見交換会開催

委員会報告に 活発な意見

山北町議会では「議会の見える化」「議員の資質向上」「議会活動・委員会の活性化」の3点を重点課題とし、平成23年9月から議会改革に取り組んできました。

本年度も二つの常任委員会の活動内容を中心に4月11日から22日まで、町内6会場で全議員が出席し、第4回目の「議会報告会・意見交換会」を開催しました。特に住民の皆様の声を聴くことに重きを置き、広く意見を聴きました。

三保会場

人口問題

質問 最近玄倉地域では子供会がないことから、お祭りを自治会でやるようになり、小学校も三保小だけになってしまった。人口減少についてどのように考えているのか。

答弁 人口減少は社会構造的な問題と言えます。減少幅を縮小すべきとして研究を進めています。町では、さまざまな施策を実施しており、議会でも支援していく考えです。

(総務環境常任委員長)

道路問題

質問 三保地域では、20年前から行き止まり道路の解消を要望している。10年位前には、議会で道志村と交流したことがある。継続的に要望をして小田原甲府線を実現してほしい。

答弁 小田原甲府線については、津久井と相模原市の合併、圏央道の開通、リニアモーターの計画など状況が変わってきています。今後さらなる対応が必要と感じています。

(議長)

清水会場

鳥獣被害

質問 鳥獣被害対策の食肉としての利用で、神奈川県は静岡に比べ規制が厳しい。大野山で鹿を飼い販売する事に対し、県は難色を示している。町の鹿柵予算は10万円で頭数だ。町や議会が鳥獣被害の問題について国や県に働きかけるべきだ。

答弁 民間会社が県西部でジビエの工場を作る検討をしています。鳥取県の若桜町への議会視察では、3000頭捕獲してジビエに使用できるのは1割だと聞きました。民間会社は600頭要求していますが結論は出ていません。

(総務環境常任委員長)

答弁 昨年度から鳥獣被害を人口減少問題に加えて、委員会で議論してきました。鳥取、島根、長野県では、県全体で組織を作りガイド

インターネット配信

質問 本会議のインターネット配信への取り組みは、

答弁 インターネット配信については、昨年から検討を始め、検討委員会を立ち上げました。今後、予算・設備・ルール作りを含め、

委員会の中で審議し、町行政と協議していく考えです。

(議会運営委員長)

共和会場

交通問題

質問 交通の再構築とは何か。金銭的な支援も含めて再構築の中身を問う。

答弁 町には町内循環バス、福祉タクシー、スクールバス等いくつかの交通手段があります。それぞれの特徴を生かし、相互利用ができないかと考えています。

(議長)

定住と雇用

質問 共和地区では、若者が地域で稼ぐことができ、定住し、子育てのできる環境を創りたいと頑張っている。地域にお金が入るよう、苗木の育成に取り組んでいる。このような活動に、議会も町も応援をしてほしい。

答弁 先進的で、素晴らしい取り組みだと思います。

山北会場

ICカード

質問 御殿場線増便、ICカードの普及は、JR東日本とJR東海の会社間の違い、利用者数が少ないことを考えると根本的に難しいのではないのか。

スマートインター

質問 新東名スマートICは、現在どうなっているのか。

答弁 平成32年開通予定です。東京方面だけの利用となります。災害時は自衛隊等の救援車両が御殿場方面からも降りられるようになる見込みです。

(総務環境常任委員長)



(議長)

議会報告会

議会も何ができるか検討していきたいと思っています。

(総務環境常任委員長)

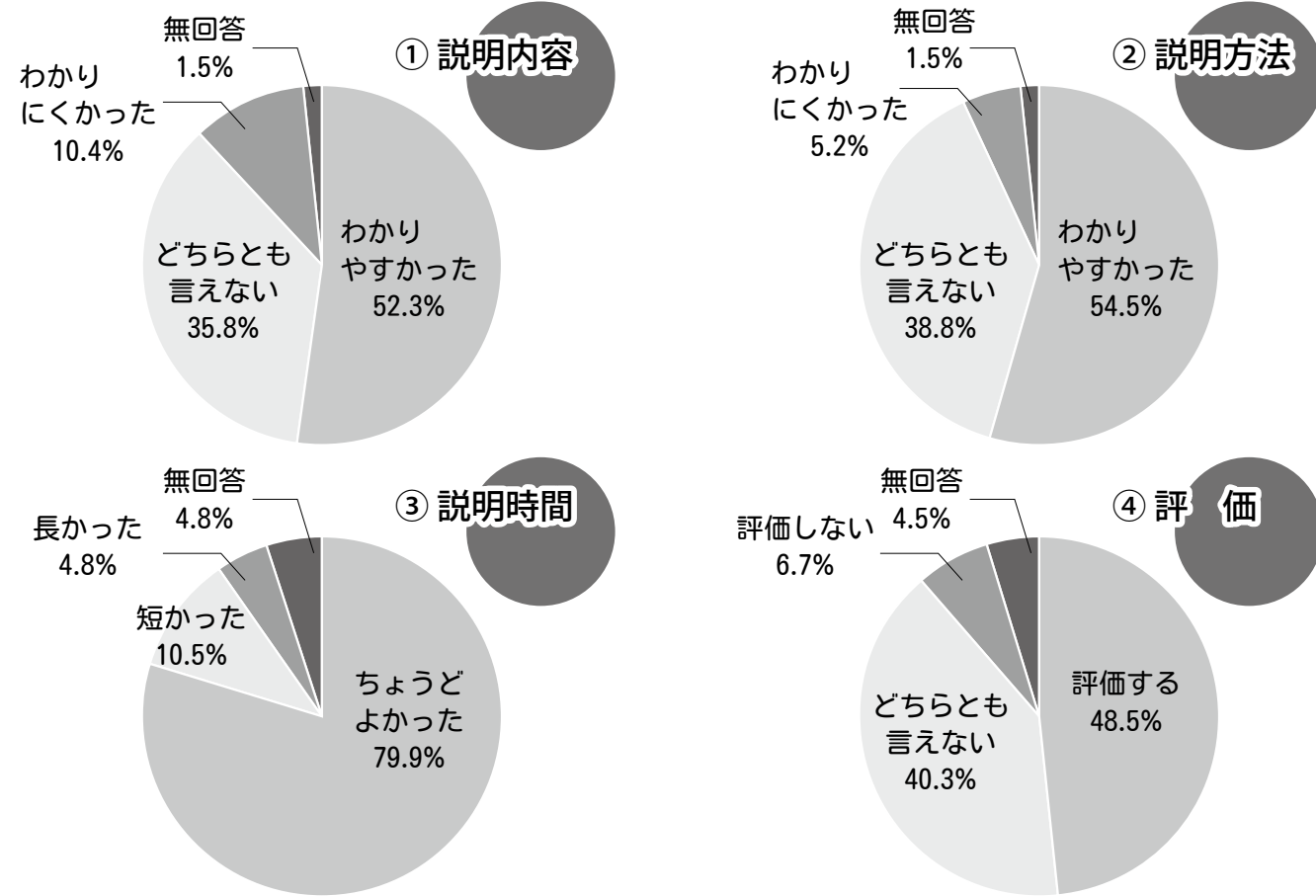
質問 議会報告会の必要性についてどう考えているのか。

答弁 委員会活動で、議論した内容を報告すること。また、議会報告会が以前と変わらないのはどうしてか。

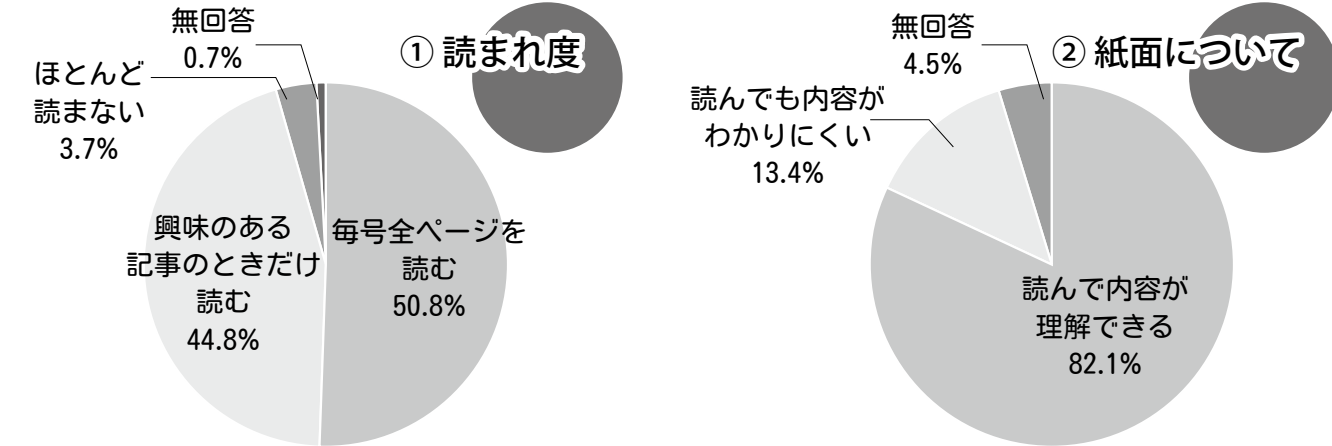
(議長)

〈議会報告会アンケート結果〉

■ 議会報告会について



■ 議会だよりについて



アンケート結果について

議会報告会の、内容・説明方法・説明時間・評価について、およそ半数以上の方から良い評価を頂きました。また議会だよりについても、多くの方から良い評価を頂きました。頂いたご意見は、今後の議会報告会を初めとした広聴活動、そして議会だよりの作成を主とした広報活動に活かしてまいります。

山北町議会報告会に多くの方ご参加を頂きありがとうございました。
今後も皆様の声を聴くことに重きをおき、よりよいまちづくりのために活動してまいります。

岸会場

合併問題

質問 小田原・南足柄の2市が合併協議会を立ち上げると説明を聞いたがどうなるのか。

答弁 上郡5町は、2市の動きをしっかりとみて、足なみをそろえてじっくりと考えていくことが大事と考えています。
(議長)



子育て環境

質問 委員会報告で子育て環境は、良いと報告されているが、進学の事を考えると充分とはいえない。良い教育をしていけば山北町でじっくり育てる気になると思う。小学校中期からの学力アップを町民として考えていく必要があるのではないかと。子供のレベルアップは、町民のレベルアップに与議会から働きかけをすべきだ。

答弁 学力向上について、以前に福祉教育委員会で行った調査で、学力テストの結果を学校単位で公開すべきと提言しています。保護者の危機感も様々です。以前から学力向上については、議論を重ねています。
(福祉教育常任委員長)

いやしの里

質問 未病・いやしの里の具体的な例はあるのか。

答弁 大井町に、未病い

向原会場



質問 山北は鉄道の町だったので、鉄道博物館をつくるとか、御殿場線にSILを走らせお客さんと呼ぶ等、鉄道とタイアップする事を考えたかどうか。

鉄道の町

質問 山北は鉄道の町だったので、鉄道博物館をつくるとか、御殿場線にSILを走らせお客さんと呼ぶ等、鉄道とタイアップする事を考えたかどうか。

子育て支援

答弁 一部で御殿場線にSILを走らせる考えが、出ています。博物館とまではいきませんが、展示は町でも考えています。
(広報広聴委員長)

高齢者の生きがいづくり

質問 委員会報告の中で高齢者の生きがいづくり実行委員会、観光客や地域住民との交流とあるが、どういうことをやっていくのか聞きたい。

答弁 休耕地に花や、野菜を作り、景観を良くして観光客を集め、山北町の活性化につなげていく考えです。
(福祉教育常任委員長)

若い人の参加を

質問 選挙権が18歳に上がった。若い人の意見を吸い上げるような取り組みをしてもらいたい。

答弁 この会場にはいらっ



問 連携中枢都市圏構想について山北町の対応は

答 町民に不利益が生じないように臨んでいく



庄野京子 議員

● 5 町の政策的な発展と事務の効率化の 2 点を踏まえた上

問 連携中枢都市圏構想が山北町にどのような影響を与えると見ているのか。

答 5 町の将来像を見据えた中で統一見解を出して対応していくことを共通認識した。5 町で足並みをそろえて協議を進める。

問 山北町が抱える課題を克服すると同時に、町発展のために、広域連携、広域行政について町長の所見を伺う。

国のだ州制の狙いと人口減少、少子高齢化などで小田原市と南足柄市は、今年 10 月を目途に任意の「(仮称) 県西地域の中心市」の在り方に関する 2 市協議会」を立ち上げる。

● 連携中枢都市圏構想とは
● 連携中枢都市となる圏域中心市と近隣の市町村が連携協約を結ぶことにより、連携中枢都市圏を形成し圏域の活性化を図ろうとする構想

答 圏域全体の発展を考えた中で、すべての市町が足並みを揃えて実施した方が効果的であるいは各々の特性を踏まえ特定の市町のみが実施する事業など様々だが各町の強み、弱みを分析、整理して連携する取り組みも検討し、適切に判断したい。

問 山北町の関与の方向性を伺う。

で 5 町の課題について調査、研究を行い進む方向について様々な選択肢を考えていく。町民に不利益が生じないように臨んでいく。



小田原市消防本部足柄消防署・山北出張所

ズバッ と問う！

一般質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、提案や意見を述べ、時には是正を求め、新たな施策方針等を問うものです。

原稿は、質問議員が作成しています。

ページ	質 問 事 項	質 問 議 員
9	連携中枢都市圏構想における山北町の対応策は	庄 野 京 子
10	1. 歴史遺産河村城址を町おこしに 2. 個人住宅耐震化の環境の整備充実を	渡 辺 良 孝
11	過去の震災を検証し、教訓を生かす	石 田 照 子
12	官・民・地域協働による、高齢者が安心して暮らせる環境づくりを	藤 原 浩
13	山間の豊かな自然美を活用した町のにぎわいづくりを	原 憲 司
14	地域防災計画の推進は女性の参画から	瀬 戸 恵 津 子
15	山砂利採取跡地について	小 栗 直 治

問 過去の震災を検証し、教訓を生かす

答 耐震化補助制度の創設を前向きに



石田照子 議員

問 避難所生活ではプライバシーの確保と同様に、通路の確保も重要である。通路や思いやりスペースが確実に確保できる方法として、避難所の見取り図を、パネルにして貼り出したらどうか。

答 手薄の状況でも被災者が混乱せず、避難所運営が出来るよう検討していく。

熊本地震の発生から2カ月経過した。一刻も早い復興を願うところだが、被災地の皆様はいまだ、先行き見えぬ不安と戦っており。複数の断層帯が走る当町にとっても他人事ではなく、今回の事で、日頃からの意識づけと計画性が、いざという時の行動に繋がると実感した。そこで、見えてきた課題を検証し、教訓として生かすことは、重要と考え質問する。

問 指定外避難所へ避難される方は、行く事が出来ない方々であり、支援が必要な方である。そのような方々が、災害発生時に避難されるであろう場所へ、連絡先を明記したパネルを貼り出

答 様々なニーズに応えるためには、多くの協力が必要になるため、各種団体を災害時協力隊として位置付けることを検討する。

問 熊本地震では、人出不足により、避難所運営に支障をきたした。いざというときの確な判断を下し、行動に移すには、日頃の意識づけが重要である。そこで、平常時から各種団体に役割分担を依頼し、各人が自発的に適材適所で動いていただけるような体制を整えておくべきではないか。



災害に備え 実践さながらの避難訓練を

問 個人住宅耐震化に対する補助制度のないことが活

答 可能な限り指定避難所へ避難して頂きたいが、指定外避難所への対応も同様に図られるよう徹底する。

問 個人住宅耐震化への補助制度創設に向けて、前向きに取り組んでいく。

答 個人住宅耐震化への補助制度創設に向けて、前向きに取り組んでいく。

問 歴史遺産河村城址を町おこしに

答 河村氏子孫の会組織化を依頼している



渡辺良孝 議員



幅1.5m 高さ8.0m

問 観光マスタープランに、全国のカワムラさんに呼びかける計画がある。具

答 静岡県に住む子孫の方に発起人の依頼をしている。でき得れば、今年の河村城まつりに設立総会を行いたいと考えている。

問 山北の街や御殿場線からも見えた河村城址の中腹にある大きな看板が、今は樹木に覆われて見えない。伐採・塗り替えをすべきではないか。

答 今年度中に検討し、地権者の協力を踏まえ、できる限り早い時期に実施したい。

問 河村城址に行くには案内板が少なく、町外の来訪者からその声を聞く。街中を点検し、分かりやすい歴史説明・案内板を設置すべきではないか。

答 取り付け場所、文字等が統一性のない現状もある。県道や国道からのアクセスも含め、関係部署が連携を取り、案内板等の充実を図る。

河村城址に関連しては、民間の団体で、河村氏の子孫を招き河村城まつりやのろし上げなどを行っている。町を象徴する県指定の史跡であることから、町おこしにつなげていくべきと思

問 河村城址の本城郭の東部にヤマユリが群生している(推定300本)。この場所は生息に最適といわれている。この群生地を新たな観光スポットにすべきと思うが。

答 河村城址保存会や地域に協力を願い、豊かな自然環境を活用した歴史遺産として、町おこしにつなげていきたい。



7月5日撮影

問 個人住宅の耐震診断は、過去3年で1件であり一向に進んでいない。制度(補助限度額2万円)を見直すべきではないか。

答 耐震化の必要性を町のホームページや広報で啓発し、制度の見直しの検討もする。

問 個人住宅は、診断後の改修が大切である。補助制度が必要ではないか。

答 個人住宅耐震設計、更に耐震工事補助制度は当町にはない。制度の創設に前向きに取り組んでいく。



熊本県被災地の民家

問 山間の豊かな自然美を活用した町のにぎわいづくりを

答 県や関係団体と協議して取り組んでいく



原 憲司 議員

問 洒水の滝と滝つぼの両方が眺められるように、早急に観瀑台の設置・整備を

答 河村城址は県指定の史跡で、公園内の植栽は制限されている。やまぶきや山ゆりの植栽は、関係機関と協議し、にぎわいづくりの一助にする。

問 河村城址歴史公園周辺に町の花であるやまぶきや山ゆりを植栽し、花の美しい公園として、町や地域のにぎわいづくりを推し進めては。

当町は、世界文化遺産に登録された富士山の絶景が各所で望める自然美豊かな町である。この素晴らしい山間の自然環境を活用した地域振興や観光客の増加を図り、町や地域のにぎわいづくりを進める取り組みについて質問する。

問 山北山、丸山、浅間山の休耕地を活用し、町の花であるやまぶきや菜の花などの花木の植栽・整備を行



洒水の滝

答 保安林や文化財の関係部署の了承を得た上で、地域と協議し、今年度中にルート、工法等を決定する。洒水の滝は、最優先課題と位置付けているので、スピード感を持って推進する。

行い、町や地域のにぎわいづくりを推し進めては。

問 官・民・地域協働による、高齢者が安心して暮らせる環境づくりを

答 今後関係者と調整していく必要があると認識している

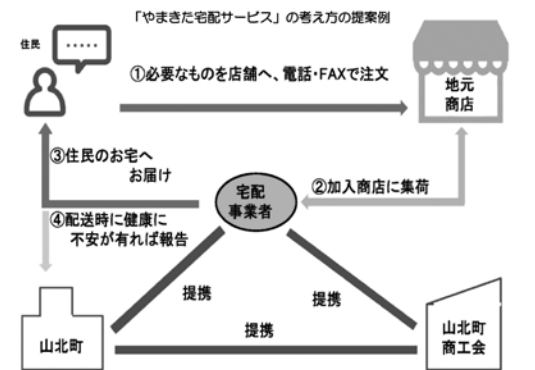


藤原 浩 議員

問 商店のない、日常の買い物に困難な高齢者がいる地域の課題解決に取り組むため、行政、商工会、地元商店、宅配業者が連携して、「やまきた宅配サービス」の実施に向け取り組んではどうか。

答 近隣でモデル的に実施されたケースでは、難しいと聞いている。民間の移動販売や買い物支援の福祉タクシー運行事業のさらなる活用で対応していきたい。

山北町では、ひとり暮らしの高齢者が、全戸数の1/10弱である。買い物困難者等の課題を民間企業と地域で協働し、解決に取り組んでほしいと考え、以下の質問をする。



答 導入に際し町の助成は難しい。今後更に、買い物困難者の増加が予想される。御提案について、関係者等と調整していく必要があると認識している。

問 今回の提案は、町が行っているサービスを利用しにくい方々のための提案であり、町で1/2程度助成しても費用は10数万程度と考えられる。地域活性化につながる施策と考えるかどうか。



宅配業者による見守り支援イメージ

答 本町では既に地域内の民間事業者等と、高齢者など、地域で孤立しがちな方々を見守り、何らかの異変があれば、町に通報する地域見守りを進めるための協定を結んでいる。

問 高齢者が住みなれた地域で安心して暮らせるため、地域内の物流事業者・金融機関・新聞配達業者等に加わっていただき、見守り活動に関する協定を結び、見守り活動を実施する体制を整備する取り組みをすべきと考えるがどうか。



お買い物の帰り

答 清水地区振興協議会と協議していく。酒匂川を横断してこいのぼりを設置するには、県西土木事務所の許可が必要なので、県と協議していく。

問 清水地区の河内川ふれあいビレッジ、道の駅周辺に酒匂川を横断する泳ぐこいのぼりの設置・整備を行い、町や地域のにぎわいづくりを推し進めては。

答 休耕地を花などで美しく彩るため、地域や農業関係団体及び関係者のご理解、ご協力が得られるように粘り強く取り組み、少しでも実現するようにしていく。

い、美しい花で彩り、町や地域のにぎわいづくりを推し進めては。



こいのぼり(イメージ)

答 飼育施設を町が設置することは難しいので、民間や地域が設置する場合は支援する。町民や来町者が野生鳥獣の生態や被害対策等の知識を学ぶための講習会などを町と県で行う計画をする。

問 イノシシ、シカの飼育施設を設置・整備し、町の子どもたちや観光客に野生鳥獣の生態状況を学んでもらい、町や地域のにぎわいづくりを推し進めては。

答 民生委員により、見守りが必要な独居老人等の調査中である。今後得た情報を、各自治体と情報共有する中、自治会と協働した見守り支援体制がとれると考えている。

問 現在は、県で一斉に協定を結んだ事業者等に加え一部町独自で協定を結び、警察・消防と連携している。そのような中、地域の関わり方が重要になるが、どうか。

問 山砂利採取跡地について

答 災害防止、広域交流産業振興エリアとして活用する



小栗直治 議員

問 事業採取地には土砂流失防備保安林の指定がされている。砂利採取中は指定林で事業はできるが、終了後、指定解除手続きをする必要がある。この許認可事務の進捗状況について伺う。

答 保安林の指定解除は農林水産大臣の権限で事前協議が必要である。当初計画も経年変化や設計、測量技術の進歩があるため、事業の進捗状況を踏まえて、見直しを検討している。



山北町清水地区で昭和43年から「山砂利採取事業」が始まり、平成34年度で54年間続いた山砂利採取事業が終了する予定である。長期間※法定外普通税として町づくりに貢献してきたことを改めて確認した。採取跡地の平地化計画の進捗とこれらの土地活用をどう考えるか伺う。

問 山砂利採取跡地の平地化計画は清水・透間地区の裏山に当たる。防災上の安全対策工事についての進捗状況とチェック体制は。

答 安全対策は、県・町で年に数回、現地確認をしている。6月には毎年一斉立入調査を行い指導している。



問 町には砂利採取指導要綱が定められているが、これに基づき業者指導がされてきたか伺う。

答 本要綱は無秩序な採取を規制し、災害防止と自然環境を保存する目的で昭和51年に制定されたものである。これにより岩石採取を行う際、切土や埋戻し、盛土勾配、公害発生防止の指導をしている。

問 事業跡地のすべての許認可、安全対策工事終了後、国土交通省が提唱している「コンパクトシティ」構想を含む新しい街づくりの実現に向け、新たな土地活用の検討をはじめているか。

答 新たな地域づくりを行う場所として、広域交流・産業観光振興エリアとして位置づけ、産業・観光のゲートとして土地活用を進めていく。

※法定外普通税とは、地方税法で定められている税目以外で、地方公共団体が独自に条例を定めて課する税のこと。山北町では、砂利採取税がこれにあたる。

問 地域防災計画の推進は女性の参画から

答 女性を含めた防災対策につなげる



瀬戸恵津子 議員

問 女性中心の避難所体験訓練を実施し、防災女性チームを立ち上げる考えは。

答 現段階では、女性チームを立ち上げる考えはないが、避難所を開設する場合には、運営に参加してもらい、より良い運営を図る。



携帯電話を活用

いざという時に、何もできないという教訓が、災害のたびに浮き彫りになる。山北町でも平成25年度に、地域防災計画を改訂し男女間、高齢者、障がい者などへ配慮した避難所の運営管理を行うと、追加された。そこで毎年行われている町と連携した自主防災組織の訓練も、さらに実践的な訓練とし、広域避難所の運営や備蓄品の点検等に女性が、直接体験できる訓練を取り入れるべきと考え質問する。

問 より良い運営とは、具体的に何か。

答 避難所開設には女性の視点も大事だが、男女力を合わせてやっていきたい。女性の意見を早く吸い上げ、運営マニュアルに取り入れる。情報ではスマートフォンが力を発揮する。安否確認や、不足物資は、メールできると考える。訓練も大事だが情報収集は、大事なことを考える。

問 避難所運営ゲームは、地域住民と共に体験訓練すべきだが。

答 職員は平成24年度25年度に研修を行い、自主防災組織リーダーも毎年研修している。今後も学んでいただき、体験を希望する自主防災組織があれば、県に講師の派遣を依頼することもできるので、有事に備え活用していただきたい。



図上訓練する職員



避難所開設訓練

問 町民との情報の共有が、防災減災に重要だ。赤ちゃんを連れた方や、障がい者、災害時要援護者の方が広域避難所では、過ごしにくい。二次避難先について対応と周知は。

答 幼稚園保育園、高齢者施設等は、被災によりスタッフ不足がおきるので難しい。高齢者施設と協定は結んではいるので、対応はできる。今後多くの女性への、周知等をも課題に防災対策につなげていく。

活きいきひろば

私たちが大好きな洒水太鼓

日隈 葵さん
細川 愛美さん



山北町平山に私たちの洒水太鼓を守る会は、あります。
幼児から大人まで広い世代のメンバーで練習や行事などに参加したりして活動しています。

月に2回程度「助六太鼓」や「希望」などたくさん曲を練習しています。

そんな私たちを支えてくれるのは、「おっちゃん」と「おばちゃん」です。おっちゃんは、練習を教えてください、叩けなくてもサポートしてくれるので安心です。おばちゃんは、毎回美味しいカレーを作ってくれます。

本当にみんな仲良しで、休憩時間は、みんなで絵を描いたり、鬼ごっこをしたり、滝の探検などをして楽しく遊んでいます。

年間5〜6回太鼓の出演があります。夏になると一番楽しみにしている、「洒水の滝祭り」や「こどもコンサート（8月20日）」がありますので、みんな自然と練習も気合が入ります。皆さんぜひ見に来てください。



みんな仲良し

8月

議会活動予定

22 議員研修会

24 議会運営委員会

25 全員協議会

9月

6 第3回定例会・本会議

議会の傍聴においでください

第3回定例会(予定)

9月6日(火)~



庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ 議会事務局 75-3653

●議会ホームページ●

<http://www.town.yamakita.kanagawa.jp/gikai/>

編集後記



平成27年6月の公職選挙法の改正により、今回の参議院選挙から選挙権が18歳以上に引き下げられ、18歳・19歳の方も有権者となり、全国で約240万人、山北町では192人の方が投票できるようになりました。このうち何人の方がはじめての一票を投じたのでしょうか。

若い世代のご意見や考え方にも、さらに耳を傾け、町政に反映させていきたいと思います。

今年度も、「議会報告会・意見交換会」を4月に6会場で開催しました。多くの皆さんにご参加をいただき、貴重なご意見などをお聴きすることができましたが、紙面に限りがありその一部の要旨を掲載しました。ホームページでも配信しておりますので、ぜひご覧ください。

皆さまに読みやすく、親しんでいた「議会だより」をお届けしたいと、研修会などを重ねて奮闘しております。ご意見・ご感想をお寄せください。

(鈴木)



広報分科会

会長 石田 照子

副会長 児玉 洋一

委員 井上 正文

瀬戸 恵津子

鈴木 登志子

庄野 京子